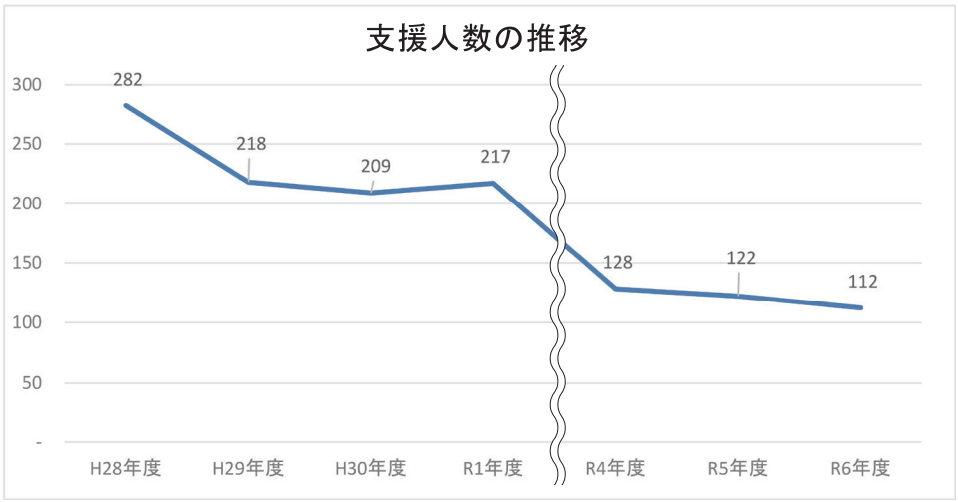
海外研修支援（学生）

■令和６年度　鹿児島大学学生海外研修支援事業…大学憲章に基づき、自主自律と進取の精神を併せ持ち、かつ社会の発展に貢献し、国際社会で活躍できる人材の育成を図るため、本学で実施する学生の海外研修を支援することを目的とする。（平成 22 年度より実施）

開講部局	開講期	授業科目名	授業担当者部局	支援人数	研修期間（自）	研修期間（至）	日数	派遣国
農学部	前期	卒業プロジェクト	農学部	1	R6.4.1	R6.5.1	31	タイ
農林水産学研究科	前期	Tropical Fisheries	水産学部	3	R6.7.16	R6.7.27	12	フィリピン
共通教育センター	前期	進取の精神海外研修 in ベトナム	稲盛アカデミー	10	R6.8.17	R6.8.24	8	ベトナム
水産学部	前期	海外研修・実用英語（海外研修）	水産学部	5	R6.8.27	R6.9.7	12	フィリピン
				6	R6.9.17	R6.9.28	12	フィリピン
法文学部	前期	文化人類学実習１	法文学部	9	R6.8.28	R6.9.4	8	韓国
歯学部	前期	海外歯科研修プログラムⅡ	歯学部	2	R6.8.31	R6.9.9	10	インドネシア
歯学部	前期	海外歯科研修プログラムⅣ	歯学部	2	R6.9.1	R6.9.9	9	インドネシア
	後期			2	R7.2.28	R7.3.8	9	台湾
歯学部	前期	海外歯科研修プログラムⅢ	歯学部	1	R6.9.7	R6.9.25	19	インドネシア
	前期			2	R6.9.12	R6.9.20	9	韓国
	後期			1	R7.2.24	R7.3.5	10	マレーシア
農学部	前期	海外研修	農学部	8	R6.9.8	R6.9.16	9	インドネシア
農学部	前期	国際森林論	農学部	4	R6.9.13	R6.9.25	13	ドイツ
農林水産学研究科	前期	海外森林・林業事情	農林水産学研究科	4	R6.9.13	R6.9.25	13	ドイツ
共通教育センター	前期	国際感覚を持つバイテク人材育成	農学部	7	R6.9.15	R6.9.24	10	タイ
理工学研究科	後期	国際学会特別研修	理工学研究科	10	R6.10.13	R6.10.22	10	米国
教育学部	後期	科学技術教育環境開発論	教育学部	5	R6.11.22	R6.12.3	12	ドイツ
共同獣医学部	後期	国際獣医学インターンシップ A	共同獣医学部	2	R7.1.3	R7.1.20	18	フランス
				3	R7.1.31	R7.2.16	17	フランス
歯学部	後期	海外歯科研修プログラムⅥ	歯学部	2	R7.2.5	R7.2.17	13	マレーシア
				3	R7.2.10	R7.2.25	16	カナダ
保健学研究科	後期	離島・地域母子保健学演習	保健学研究科	7	R7.2.11	R7.2.19	9	イギリス
共通教育センター	後期	海外異文化体験実習（台湾研修）	グローバルセンター	10	R7.2.18	R7.3.4	15	台湾
共通教育センター	後期	グローバル人材育成（雲南）	法文学部	3	R7.3.3	R7.3.12	10	中国
			合　計	112				

鹿児島大学学生海外研修支援事業　支援人数

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R4年度	R5年度	R6年度
支援人数	282	218	209	217	128	122	112



（注）令和２年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止

海外留学支援（学生）

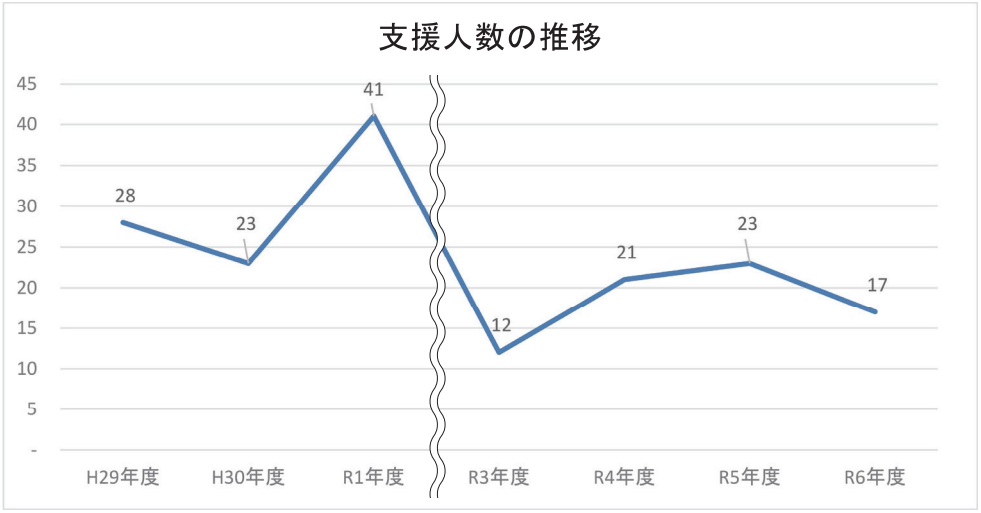
■鹿児島大学学生海外留学支援事業…大学憲章及び学生憲章に謳われている「進取の気風にあふれ、困難な課題に果敢に挑戦し、国際的に通用する人材」を育成するため、海外の学術協定交流校へ６月以上１年未満の期間に留学する日本人学生を経済的に支援することを目的とする。（平成 23 年度より実施）

派遣年度	支援人数合計	支援実績（派遣国・地域、支援人数）
平成 27 年度	20 名	米国３名、オーストラリア２名、スウェーデン３名、タイ１名、韓国４名、ドイツ２名、フランス２名、台湾１名、インドネシア１名、スペイン１名
平成 28 年度	19 名	米国２名、オーストラリア２名、スウェーデン３名、韓国４名、ドイツ３名、フランス２名、インドネシア１名、スペイン２名
平成 29 年度	28 名	米国４名、オーストラリア３名、スウェーデン１名、スペイン２名、ドイツ４名、フランス２名、インドネシア１名、タイ１名、韓国５名、台湾２名、中国１名、マレーシア１名、ブラジル１名
平成 30 年度	23 名	米国２名、オーストラリア２名、スウェーデン１名、ドイツ４名、フランス３名、タイ２名、韓国４名、台湾１名、中国２名、スロバキア１名、フィリピン１名
令和元年度	41 名	米国１名、イタリア１名、オーストラリア４名、韓国７名、スウェーデン１名、スロバキア１名、タイ２名、中国９名、ドイツ６名、フィリピン１名、フランス６名、マレーシア２名
令和２年度	０名	－
令和３年度	12 名	韓国７名、トルコ１名、米国１名、タイ１名、スウェーデン１名、オーストラリア１名
令和４年度	21 名	米国２名、オーストラリア２名、スウェーデン１名、ドイツ５名、フランス１名、タイ２名、韓国２名、台湾３名、マレーシア２名、メキシコ１名
令和５年度	23 名	米国２名、イギリス３名、イタリア２名、オーストラリア４名、韓国２名、タイ２名、台湾１名、中国３名、ドイツ１名、フランス１名、マレーシア２名
令和６年度	17 名	米国１名、メキシコ１名、イギリス３名、フランス１名、スペイン１名、ドイツ２名、ノルウェー２名、スウェーデン１名、トルコ１名、オーストラリア１名、韓国１名、台湾１名、インドネシア１名

（注）令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当該支援事業の対象となる国際交流事業の実施が中止又は延期となった。

鹿児島大学学生海外留学支援事業　支援人数

	H29年度	H30 年度	R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
支援人数	28	23	41	12	21	23	17



（注）令和 2,3 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止

令和 6 年度 日本学生支援機構 (JASSO) による海外留学支援制度（協定派遣）

海外留学支援制度（協定派遣）

日本の大学等と諸外国の高等教育機関との学生交流に関する協定等に基づいて、在籍大学等に在籍したまま 8 日以上 1 年以内の期間、在籍大学等が実施する派遣プログラムに参加する学生に対し、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給するもの。

プログラム区分	プログラム名	国または地域	人数	プログラム開始日	プログラム終了日
派遣	STEAM 系大学院生のための学際・国際コミュニケーション海外研修	オーストラリア	2	R6.7.12	R6.9.22
派遣	地域人材育成プラットフォーム・かごしまグローバルプログラム海外実地経験：地域的課題にグローバルな視点とインクルーシブで持続可能なアプローチで挑む	オーストラリア、英国	6	R6.8.17	R7.1.17
派遣	リベラルアーツ教育を通した国際教養人材の育成プログラム：文化と分野を超えた協働とコミュニケーションに向けて	スウェーデン、米国、大韓民国、台湾、スペイン、オーストラリア	6	R6.8.19	R7.12.5
派遣	学位論文執筆を目的とする調査・研究型の派遣留学プログラム：海外協定校との協働教育 (Collaborative Education) の制度化を目指して	ノルウェー、フランス、トルコ、英国、ドイツ、インドネシア	6	R6.8.12	R7.12.17
派遣	熱帯水産域で活躍する国際水産人育成プログラム（派遣）	タイ	2	R6.10.4	R6.11.13
派遣	北米教育研究センター企画「海外インターンシップ」	カナダ	3	R7.2.10	R7.2.25
派遣	PBL 型の国際 X 異分野協働学習によるグローバル・コンピテンシー育成プログラム	大韓民国、インドネシア、ドイツ、タイ、米国、マレーシア、台湾	46	R6.8.28	R7.3.8

鹿大「進取の精神」支援基金事業
（学生海外派遣事業）

鹿児島地域の活性化に資するグローカル人材を育成することを目的として、学生海外派遣事業、外国人留学生受入推進事業、若手研究者支援事業等を行う。
（平成 28 年度より実施）

（令和 6 年度実績）

事業名	概　　要		支援人数	支援実績
学生海外派遣事業	長期派遣留学（協定校派遣留学）	本学が学術交流協定を締結する海外の協定校への派遣留学を通じ、異なる価値観に触れ、地域特性をグローバルな視点で捉える国際感覚を養い、「進取の精神」を備えた人材の輩出を目指すことを目的とする。 留学期間は、原則として 6 か月以上 1 年未満。	17 名	アメリカ 1 名、メキシコ 1 名、 オーストラリア 1 名、イギリス 3 名、 スペイン 1 名、フランス 1 名、ドイツ 2 名、 ノルウェー 2 名、スウェーデン 1 名、 トルコ 1 名、韓国 1 名、台湾 1 名、 インドネシア 1 名
	中期派遣留学	地域活性化に資する人材育成を目的とした、専門・語学学習及び研究、実習、インターンシップ等実地体験を組合せた海外派遣事業科目等を支援対象とする。留学期間は、31 日以上 90 日以下。	15 名	医学部：米国 1 名、ドイツ 3 名、 インドネシア 4 名 理工学研究科：オーストラリア 2 名 共通教育センター：オーストラリア 5 名
	短期海外研修	短期海外研修は、地域貢献をテーマに組込んだ 8 日以上 30 日以内の海外研修授業を支援対象とする。	112 名	詳細は、「鹿児島大学学生海外研修支援事業（短期海外研修）」（P.28）に掲載

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN プログラム～

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～

2014 年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度で、2020 年までの 7 年間で約 1 万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画。

本制度は、日本の大学等に在籍する日本人学生等に対し、諸外国への留学に必要な経費の一部を奨学金等として支給するとともに、留学経験の質を高めるため、留学の事前・事後研修の提供及び留学後の継続的な学習や交流の場としての留学生のネットワークの提供を行う。留学期間は 28 日以上 2 年以内。

派遣年度	派遣数（実数）	派遣コース、派遣国、派遣人数（延べ人数） ※複数ヵ国渡航している学生については各国 1 名として計上。
平成 27 年度	4 名	自然科学系、複合・融合系人材コース：アメリカ・インドネシア 1 名、アメリカ 2 名 多様性人材コース：フィリピン 1 名
平成 28 年度	12 名	理系、複合・融合系人材コース：スウェーデン 1 名、カナダ 1 名、インドネシア 4 名、韓国 1 名、中国 1 名、ベトナム 1 名、スロバキア 1 名、フィリピン 1 名、ミャンマー 1 名、ドイツ 1 名、イギリス 1 名、アメリカ 2 名 多様性人材コース：カナダ 1 名
平成 29 年度	10 名	理系、複合・融合系人材コース：アメリカ 3 名、オーストラリア 2 名、ドイツ 1 名、韓国 1 名、ニュージーランド 1 名、デンマーク 1 名、ウガンダ 1 名 多様性人材コース：アメリカ 1 名、シンガポール 1 名
平成 30 年度	13 名	理系、複合・融合系人材コース：アメリカ 1 名、インドネシア 2 名、フィリピン 1 名、マレーシア 1 名、イギリス 1 名、オーストラリア 1 名、カナダ 1 名、インド 1 名、チリ 1 名、デンマーク 1 名 多様性人材コース：イラン 1 名、ドイツ 1 名、インド 1 名、ネパール 1 名 新興国コース：フィリピン 2 名、ベトナム 1 名、カンボジア 1 名
令和元年度	10 名	理系、複合・融合系人材コース：ザンビア 1 名、イギリス 1 名、イタリア 1 名、アメリカ 2 名、パラオ 1 名、ブラジル 1 名、マレーシア 1 名、 多様性人材コース：韓国 1 名、スウェーデン 1 名、アメリカ 1 名 地域人材コース：オーストラリア 1 名
令和 2 年度	0 名	（コロナ渦のため、採用中止）
令和 3 年度	1 名	新興国コース：ベトナム 1 名
令和 4 年度	9 名	理系、複合・融合系人材コース：カナダ 1 名、ウガンダ 1 名、アメリカ 1 名、スイス 1 名、デンマーク 2 名、オーストラリア 1 名、インドネシア 1 名 新興国コース：ウガンダ 1 名
令和 5 年度	3 名	STEAM コース：アイルランド 1 名、ニュージーランド 1 名 ダイバーシティコース；ニュージーランド 1 名
令和 6 年度	2 名	イノベーターコース：スウェーデン・エストニア 1 名 STEAM コース：イギリス・インドネシア・オーストラリア 1 名

（注）令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当該支援事業の対象となる国際交流事業の実施が中止又は延期となった。
（注）STEAM コース：日本及び世界の社会課題解決のための技術革新や新産業創出に貢献する STEAM(Sciece,Technology,Engineering,Art,Mathematics) 領域における留学計画
ダイバーシティコース：派遣留学生の専門領域における課題解決に取り組む留学計画